



在宅医療に欠かせない訪問診療医とは…

病気や障害等で、通院が難しくなった人なら、子どもから高齢者まで年齢に関係なく自宅に出向いて診療や健康管理をするのが「訪問診療」だ。そして、住み慣れた家で一人の人間として暮らし続けられるように、また人生の最期を迎えられるようにするために24時間365日の体制をとり、訪問診療や訪問看護が必要に応じて連携を十分に図り、稼働することが重要な役割である。

私は、訪問看護に携わり25年になる。

色々な医師と出逢い、連携を図り、数えきれない人たちの人生の最期を看送ってきた。主となる医師が利用者や家族と信頼関係が成り立っていれば看護師はスムーズにケアができる。利用者にとって医師は必要不可欠で絶対（唯一無二）な存在でなければならないと思う。

こんな令和の赤ひげ先生はいた？

ある日突然、弊社訪問看護ステーションに「〇〇クリニックの医師 T村です」と。第一印象は素朴で、まるでくまのプーさんのような優しい印象だった。今では訪問看護ステーションやケアホーム希望の多くの利用者を診てくれ、私たちは在宅医療を支え合うチームとなった。



「どんなことでもいいので不安ならいつでも電話してください」が、T村先生の口癖で、年末年始やゴールデンウィーク、お盆時期であっても24時間連絡が取れるよう携帯を持ち歩いている。

- ・「早朝にトイレに行こうとした母が転倒してしまい、どうしたらよいか思い悩んでいたらT村先生の言葉を思い出し、連絡を入れたらすぐに往診に来てくれて、病院の手配から救急車を呼んでくれたりと、本当に助かった」と、娘は言う。
- ・「夫が夜中に急に吐いてしまい、T村先生に緊急連絡をしたらすぐに来てくれて、誤嚥性の肺炎を起こしかけていると、その場で点滴や在宅酸素を手配してくれて、すぐ訪問看護ステーションにも連絡してくれた。翌日から毎日看護師が訪問して点滴等、処置をしてくれて本当に助かった。本人は入院だけは絶対にしたくないと言っていたので、家でも病院のように対応してもらえ、何より先生の「大丈夫」の言葉で本人が一番安心できたと思う」と、妻は言う。

T村先生は、利用者や家族の話をゆっくり聞いてくれて、いつもその視線は利用者にあり、寄り添ってくれている。T村先生の「大丈夫」の一言で、安心して元気になる。

私たちは、そんな医師と仕事ができ、最期まで在宅で生活ができ、安らかに看送れた時はホッと、また頑張ろうと勇気がでる。

そして、素敵な医師と働けることに誇りを持っている。

金沢 二美枝

今年の夏も…コロナで… もう限界!!

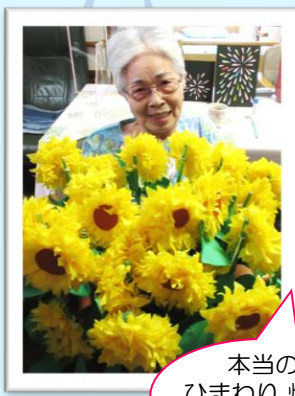


コロナになる前は皆でぶどう狩りに行ってたよな～楽しかったな

私も早くお出かけしたいわ～



コロナがまた流行ってきて外出もできなくなって…こんな生活も～イヤだよ～



本当のひまわり畑に行ってみたい



格好だけでもお出かけ気分～



このひまわりうちの画廊に飾ろうか!



ひまわりの花言葉は『情熱』なのよ

写真撮影のときのみマスクを外しています

訪問診療医 紹介

今回はケアホーム希望の利用者もお世話になっている『調布在宅クリニック』のご紹介

院長の田村 潮 先生は、急性期の総合病院で内科医師として勤務していた時に日常診療の中で、病気は改善しても様々な要因で在宅生活が困難となる患者に対し、画一的な治療では解決せず、患者それぞれに寄り添った治療が必要であることを痛感。それを最も患者の近くで実践できるのが在宅医療であるとの考えに至り、都内や横浜市内、千葉県内で在宅診療の研鑽を積み、調布、府中、狛江、三鷹を中心に、車で30分圏内の範囲で訪問診療を行う調布在宅クリニックを開業しました。



院長：田村 潮 先生

自宅で可能な処置等

- 血液検査
- 心電図検査
- 中心静脈栄養
- 人工呼吸器管理
- 尿検査
- 点滴注射
- 腹水穿刺
- 尿カテーテル管理
- 細菌検査
- 胃ろう管理
- 緩和治療
- 処方箋発行
- 超音波(エコー)検査
- 褥瘡(床ずれ)治療
- 在宅酸素療法
- 麻薬処方 等々

調布在宅クリニック

CHOFU HOMECARE CLINIC

調布市小島町1丁目21-6 アジャンタ調布501
<https://chofu-zaitaku.com/>

電話による相談も受け付けています

042-426-7750

